

# サマースクールⅡ「生きもの調査隊・つり採集編」が開催されました!

「生きもの調査隊・つり採集編」は、今年で6回目の開催となりました。この講座では、油ヶ淵へ行き釣りで生き物を採集し、採集された魚を水族館に持ち帰り解剖します。

7月22日と8月4日の2日間行い、合計で40人に参加していただきました。釣りの経験がない子も多く、餌がつけられない、仕掛けが絡まる、釣れた魚が外せないなどハプニングもありましたが、多くの魚を釣ることができました。

調査結果を当日の様子とともに紹介します。



7月22日のメンバー

8月4日のメンバー



# 生きもの調査隊・つり採集編

調査日:2011年7月22日(金)、8月4日(木)



INFORMATION & NEWS

日時調査：7月22日（金）  
9：45～11：15  
調査場所：油ヶ淵（安城市東端町）  
天気：曇り  
水温：25.9℃  
エサ：ミミズ、オキアミ  
釣れた魚：ブルーギル（13）  
スゴモロコ（1）



※赤字は外来魚、（ ）の中の数字は釣れた尾数

2日前に通過した台風の影響で、油ヶ淵の水は茶色く濁っていました。過去の傾向から濁っているときの方がいろいろな種類の魚が釣れていますが、今回は残念ながら種類も数もあまり釣れませんでした。1匹も釣れない子がいる一方で、3匹4匹と釣る子もいました。



日時調査：8月4日（木）  
9：45～11：15  
調査場所：油ヶ淵（安城市東端町）  
天気：晴れ  
水温：33.0℃  
エサ：ミミズ、オキアミ  
釣れた魚：ブルーギル（38）  
スゴモロコ（2）  
チチブ（2）  
オオクチバス（1）

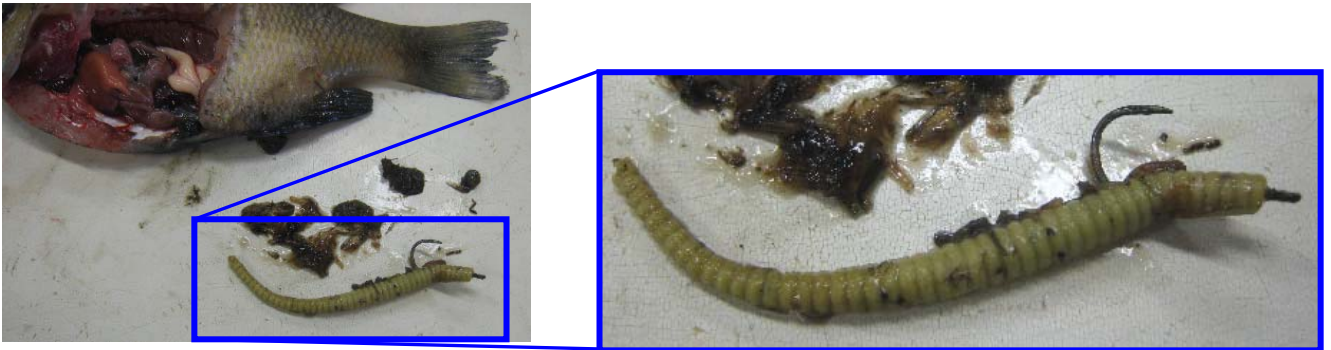


※赤字は外来魚、（ ）の中の数字は釣れた尾数

2日目の今回は種類・数ともに多く釣れました。例年あまり釣れないオオクチバスも釣ることができました。釣り始めはなかなかアタリがありませんでしたが、しばらくすると釣れだし、釣った子は皆とてもうれしそうでした。



## ブルーギルの胃の中から・・・



8月4日に解剖したブルーギルの胃の中からルアー釣りに使うワームが出てきました。それも針がついたままです。どのような経緯で胃袋にこのような針つきのワームが入ったかわかりませんが、人工物を食べてしまう魚はけっこういるようです。

今回は魚の胃袋から人工物が出てきましたが、他の多くの野生生物の胃からも人工物が確認されています。自然の中で遊ぶことはよいのですが、ゴミは必ず持ち帰らなければいけません。

### WANTED !



ブルーギル *Lepomis macrochirus*

北アメリカ原産の淡水魚で、全長 20cm 以上に成長します。エラの一部が黒～紺色になっているのが特徴で“Bluegill（青い鰓）”の名もこれに由来します。1960 年に日本へ入り、現在では日本各地の池や川に広く生息しています。雑食性であることから、ブラックバス以上に在来生物に対して深刻な影響を及ぼしていると言われていています。2005 年 6 月に施行された「**外来生物法**」により特定外来生物に指定され、**生きたままの移動や飼育は禁止**されています。